

令和4年2月17日

2019年度の温室効果ガス排出量について

県では、地球温暖化対策の進捗状況を把握するため、県内の温室効果ガス排出量の推計を行っています。

このたび、2019年度（令和元年度）の推計結果がまとまりましたので公表します。2019年度（令和元年度）の温室効果ガス排出量は3,957万トン（二酸化炭素（CO₂）換算。以下同じ。）で、2013年度（平成25年度）と比べて15.8%減少しました。引き続き、脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化対策に取り組みます。

2019年度温室効果ガス排出量 3,957万トン（2013年度比△740万トン、△15.8%）
内訳：

産業部門	786万トン	（2013年度比	△211万トン	（△21.2%）
業務その他部門	786万トン	（2013年度比	△236万トン	（△23.1%）
家庭部門	813万トン	（2013年度比	△302万トン	（△27.1%）
運輸部門	894万トン	（2013年度比	△72万トン	（△7.4%）
廃棄物	111万トン	（2013年度比	+22万トン	（+25.3%）
工業プロセス	234万トン	（2013年度比	△17万トン	（△6.7%）
その他温室効果ガス	332万トン	（2013年度比	+76万トン	（+29.6%）

※ 2019年度排出量と内訳の合計の差は、四捨五入によるものです。

温室効果ガス排出量の推移は、以下のホームページをご覧ください。

県内の温室効果ガス排出量

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ontaico2.html>